

幼児クラス（2歳児）

活動人数 8名

活動期間 令和6年10月～令和7年2月



テーマ

秋の自然に触れ合う！

<テーマの設定理由>

秋になり、木々に変化が訪れてきました。浜町公園にも自然変化が起きており、「色が変わってる」「実が落ちてる」と興味津々の子ども達。公園内の落ち葉遊びや探求が始まりました。発見をもとに色々な変化や感触を見つけ、ワクワクを感じていく活動を記録しました。

どこで何をする？

<活動スケジュール>

- 浜町公園広場
- 保育室
- 秋の自然と触れ合う！
- どんぐり帽子作りを楽しむ！

何が必要？

<環境デザイン・俊美物・環境設定>

- カメラ（記録用）
- お散歩バック
- どんぐり帽子

実践記録

<活動内容>



(11月)

公園に着くと以前までは緑色だったどんぐりが茶色くなり実が落ちていることに気付く。

「どんぐりだー！」

「本当だ。」

「いっぱいあるー。」

「じゃあみんなでどんぐり拾いをしよう。」

地面に落ちているどんぐりを次々と拾って観察する子どもたち。

「あっちにもあるよ。」と探索範囲を広げながらどんぐり拾いを楽しむ。

お散歩バックの中はどんぐりや落ち葉でいっぱいになる。



「見て！なんかあるよ。」
「どんぐりだ！」
「おっきいどんぐりもあるよ。」
「赤い実欲しい。」
「さっき拾ったどんぐりと違うね？どこが違うかわかる？」
「大きい！」「色が違うね。」
などと感想を伝え合う。

【どんぐりくりくりおともだち】の絵本を通し、どんぐりの大きさや色の違いにも興味を持っていた。
「これかっちゃんじゃない？」
「しいちゃんもいた。」
と絵本に出てくるどんぐりと照らし合わせていた。

【はやしでひろったよ】の絵本の中に、拾ってきた自然物を『宝物BOX』と名付けていた。
絵本を見た後「うさぎ組でも宝物BOXを作ってみる？」と提案すると「作りたい！」と意気込む子どもたち。
早速公園で秋の自然物を集めると
「これ持って帰ったらいいんじゃない？」「どんぐりいっぱい持って帰ろう。」
と意欲的に自然物を集めていた。
清澄公園でも同様に自然物を集めて2種類の宝物BOXを作ることができた。



(1月)
うさぎ組ver
【どんぐりむらのぼうし屋さん】
最初はお話の振り返り。
そしてどんぐりにつけるワクワクの材料を買いに！
「これ下さい。」
「リボンいっぱい欲しい。」
「耳つける。」
お気に入りのパーツを見つける子どもたち。
両面テープやボンドを使って好きな場所に飾り付け☆
完成した帽子を見て満足感を味わう。
「早く被って公園行きたい。」
と待ちきれない様子が見られた。





(2月)
完成したどんぐり帽子を被って浜町公園へ！
出発前にはワクワクした表情の子どもたち。
「Aちゃんの帽子かわいいね。」
「なんか面白いね。」
などと会話を楽しむ姿が見られる。

公園に到着。どんぐりの木を観察する。
「どんぐりなくなっちゃった。」
「またどんぐり出来るよ！」
「あっ落ちてるよ！」
「ここにも落ちてるよ。」
「探検しようよ。」

どんぐり探しはお手のもの。次々と葉っぱや木の下に隠れているどんぐりを見つけ出す。

探検する中でタンポポの綿毛のような植物を発見する。

「触ってみたい！」
「フワフワしてるよ。」
「気持ち良い〜。」
「〇〇くんも触ってみたら？」

自分が気付いたことを友だちに伝え、思いを共有しようとする姿も見られる。

「葉っぱシャワーしよ！」
「見ててね！」
「この葉っぱ持って帰りたい。」

どんぐり拾いや落ち葉のシャワーを楽しみ全身で自然物に触れることを楽しんだ。

振り返り

<振り返りによって得た保育者の気づき>

子どもたちは日々様々な事に興味を持っており、「これはなんだろう？」「なんで？」という気持ちが溢れています。そこで子どもの気付きに耳を傾けながら散歩に行くこと、季節を感じられるような声掛けを行ってきました。特にどんぐりや落ち葉、枝に興味を示し観察・収穫をして遊んできました。

より自然物に興味を持つことができるよう、秋に関する絵本やどんぐりの絵本を用意しました。子どもたちの大好きな絵本を通したことで、今まで以上にどんぐりの形や葉っぱの違いに気付き、絵本に出てきたものと照らし合わせる姿、保育者や友だちに知らせてくれる姿が見られました。こうした働き掛け一つで子どもたちの発見が増えることに面白さを感じます。

また、1年を通して「自分で選んで決める」経験を沢山行ってきました。今回の帽子作りも自分で何種類ものパーツから好きな物を選び、貼る場所も決めました。繰り返し絵本を見ていく中で作りたいもののイメージを膨らませ保育者に知らせてくれていました。これを繰り返し行い、帽子のイメージを固めてきた子どもたち。完成した『世界に一つだけの自分の帽子』の特別感を味わうことが出来ました。また、この製作の中で両面テープをはがす作業があったのですが、手先を使う細かい作業が上手になったと感じました。

すくわくプログラムを通して一番感じたのは、子ども同士での言葉の伝え合い、思いを共有する姿が沢山見られたことです。4ヵ月を通して楽しく取り組むことが出来たと思います！